

脚立からの転落災害の現状と防止対策の展望

リスク管理研究センター 研究員 菅間敦

脚立は業種を問わずあらゆる場所で見かける用具であり、軽作業で利用される機会が多いが、その使用方法を誤れば転落などの災害に繋がり、場合によっては死亡に至るケースもある。本講演では、安全な脚立作業の確立に向けて、脚立使用中の労働災害に関する統計分析により脚立起因災害の実態を明らかにするとともに、脚立起因災害の発生防止に向けた取り組みについての提言を行う。特に、脚立上で作業者がバランスを崩して転落するケースが多いことから、姿勢の不安定性評価に基づいた適切な脚立使用方法について述べる。

1. 脚立に関連する災害の現状
災害件数と業種別の内訳、負傷傾向と被災者のプロフィール、災害発生状況などについて述べる。
2. 脚立への適切な立ち方に関する実験研究について
多くの脚立は天板に乗ることが禁止されているが、それ以外に適切な使用方法に関するルールがなく、様々な方法で用いられているのが現状である。脚立への適切な立ち方について比較するために、研究所にて行った実験とその結果について報告する。
3. 脚立の適切な使用方法に関する提言
用具の選択、用具の設置と設備点検、作業姿勢、転落防止装置と保護具の観点から検討する。